

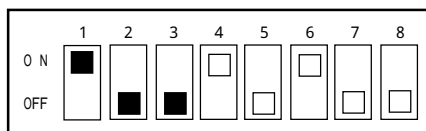
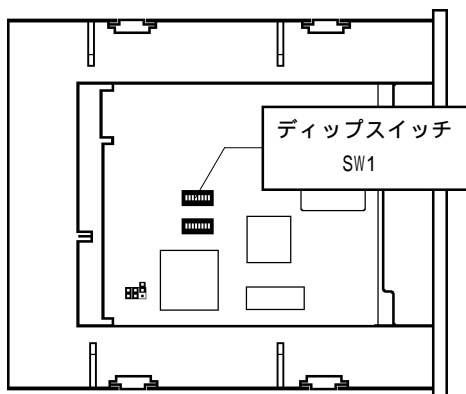
第2章 接続について

2.1 接続の前に

SCSI IDナンバーの設定

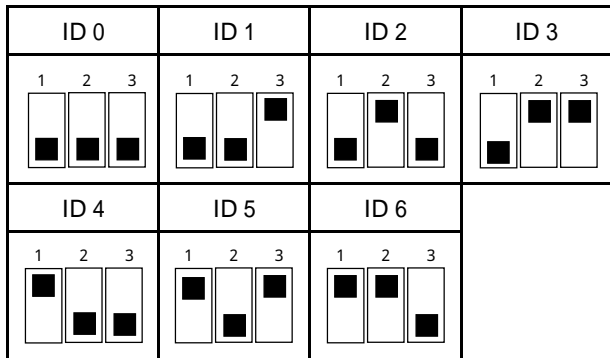
本製品を接続する前に、本製品のSCSI IDナンバーを確認/設定してください。この設定は本製品天面のディップスイッチで行ないます。

本製品は出荷時設定でIDナンバー「4」に設定されていますので、外付け/内蔵のSCSI機器でこれと重複するものがある場合は、設定を変更してください。



出荷時設定

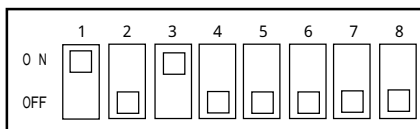
IDナンバーの設定



ご注意

- ・ PC-9800シリーズで本製品を使用する場合は、併用するSCSI機器のIDナンバーを必ず「0」から順に間を空けずに設定してください。本製品以外にSCSI機器を接続しない場合は、「0」に設定します。（ただし、PC-9800シリーズ用のMS-DOSで本製品を使用する場合は、特別な設定をしなければならない場合があります。詳細については付属ユーティリティディスク（「ディスクユーティリティ」と書かれたもの）の「¥DOS」ディレクトリに保存された補足説明ファイル「DOSWIN31.TXT」をご参照ください。）
- ・ 一部のDOS/Vパソコン用SCSIインターフェースボードでは「0」/「1」がBIOS制御のハードディスク用に予約されています。このようなSCSIインターフェースボードに接続する場合は、本製品のIDナンバーを「2」以降に設定してください。
- ・ IDナンバーの設定以外のディップスイッチは、初期設定のまま変更しないでください。参考のため、ディップスイッチSW2の初期設定を下に掲載しておきます。

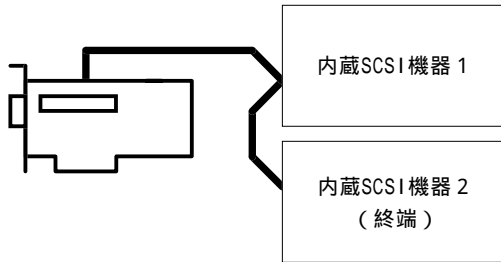
SW2



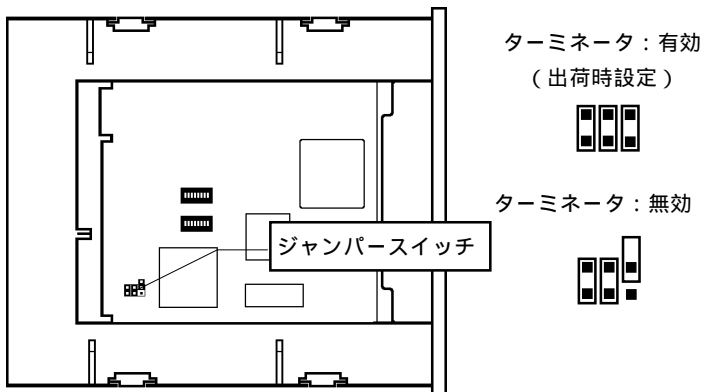
出荷時設定

ターミネータについて

SCSIでは接続の終端となる機器にターミネータを取付けなければなりません。内蔵SCSI機器の場合は、「終端」となる機器は下の図のようになります。



本製品は内蔵ターミネータを持ち、ジャンパースイッチで有効/無効を切り替えることができます。(出荷時設定：有効)上図の「内蔵SCSI機器 1」のように終端とならない位置に接続する場合は、次ページのジャンパープラグをピンセットなどで取り外し、内蔵ターミネータを無効に設定してください。





ご注意

- ・ターミネータ設定以外のジャンパースイッチは初期設定のまま変更しないでください。
 - ・内蔵SCSI機器と外付けSCSI機器を両方使用している場合、SCSIアダプタ上のオンボード・ターミネータを無効にしなければなりません。多くの場合、このターミネータは自動的に無効になりますが、旧タイプのSCSIアダプタではディップスイッチ、ソフトウェアなどで無効にしなければならない場合があります。
内蔵SCSI機器と外付けSCSI機器を両方使用する場合は、SCSIアダプタのマニュアルでオンボード・ターミネータが自動的に無効になるか確認しておいてください。
-